

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年5月24日(2023.5.24)

【国際公開番号】WO2022/259831
 【出願番号】特願2022-563483(P2022-563483)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/256(2021.01)

A 6 1 B 5/291(2021.01)

【F I】

A 6 1 B 5/256 1 1 0

A 6 1 B 5/291

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月19日(2022.10.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

人間の頭部の形状に追従して装着されるバンド部材と、
 前記バンド部材の一面に設けられた、複数の電極部と、
 前記バンド部材の頭部の形状への追従を支援する追従支援部と、
 を有し、
 前記追従支援部は、
 人間の耳に装着させる耳装着部と
 前記バンド部材に取り付けられる取付部と、
 前記耳装着部と前記取付部との間にわたされて設けられた連結部材と
 を有する、脳波測定装置。

30

【請求項2】

前記追従支援部は頭部の形状への追従状態を調整する調整部を有する、請求項1に記載の脳波測定装置。

【請求項3】

前記調整部は、前記耳装着部と前記取付部との間の長さを調整する機構を有する、請求項2に記載の脳波測定装置。

【請求項4】

前記調整部は、板状部材と前記板状部材を所定位置でロックするロック部と、を有する請求項3に記載の脳波測定装置。

40

【請求項5】

前記連結部材は弾性部材を有する、請求項1から4までのいずれか1項に記載の脳波測定装置。

【請求項6】

前記耳装着部は、耳甲介に嵌め込まれて装着される、請求項1から4までのいずれか1項に記載の脳波測定装置。

【請求項7】

前記耳装着部は、前記耳甲介に装着された状態において、前記耳甲介の内外を連通する連通孔を有する、請求項6に記載の脳波測定装置。

【請求項8】

50

前記耳装着部は、外耳部を挟むことで装着される、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の脳波測定装置。

【請求項 9】

前記耳装着部は、外耳部に掛けることで装着される、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の脳波測定装置。

【請求項 10】

前記バンド部材はゴム状の弾性体を有して構成されている、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の脳波測定装置。

【請求項 11】

前記バンド部材と一体に設けられた複数の弾性体の突起部を有し、

前記電極部は、前記突起部に設けられている、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の脳波測定装置。

【請求項 12】

前記電極部は、前記突起部の少なくとも先端部に設けられた導電部材を有する、請求項 11 に記載の脳波測定装置。

【請求項 13】

前記突起部は、錐体形状を呈している、請求項 11 に記載の脳波測定装置。

【請求項 14】

前記突起部は、前記バンド部材が頭部に装着される際に、頭髮をかき分ける形状を呈している、請求項 11 に記載の脳波測定装置。

【請求項 15】

請求項 1 ~ 4 に記載の脳波測定装置を被験者の頭部に装着して脳波を測定する脳波測定方法。

10

20

30

40

50